

2023年度全国選抜小学生プログラミング大会

発想豊か 輝く将来

上田君(代表) グランプリ

独自の発想やアルゴリズム(計算手法)に基づいたプログラムで制作したアプリやロボットなどを競う「2023年度全国選抜小学生プログラミング大会」が3日、品川インターシティホール(東京)で開かれた。



独自のプログラムで制作したアプリやロボットなどを競った2023年度全国選抜小学生プログラミング大会。3日、東京都港区の品川インターシティホール



グランプリに選ばれた宮崎県代表の上田君

上田君は自身が特定の状況で声が出せなくなる症状を抱えており、生成人工能(AI)を活用し、人間の代わりに意思を伝えてくれるアプリを開発した。飲食店で注文するなど日常生活の場面に応じた会話を作成して読み上げる。筆談より素早く、ジェスチャーより正確な意思伝達を目指した。

審査員長の平井聡一郎・情報通信総合研究所特別研究員は「同じような困り事を抱えている人の未来を切り開くテクノロジーになった」と評した。

家庭や地域の悩み解決に アプリやゲーム斬新

全国選抜小学生プログラミング大会では、介護支援やクマ出没などの家庭や地域の悩み事を解決しようと、自由な発想で開発に挑戦した斬新なアプリやゲームが多く登場した。人工知能(AI)を活用する作品も目立った。

立泉中央小6年の松浦大翔君は、AIに画像をつくってもらい、リサイクルをテーマにしたゲームを仕上げた。

愛媛県代表の松山市立久枝小5年の福田純平君は特産のかんきつ類について、クイズやゲームを通じて学ぶアプリを考案。「かんきつ類を手取るきっかけになり、おいしさを知ってもらいたい」とアピールした。

大会前日の2日にはプレイベントとして、LINEヤフー(本社)と、LINEヤフー見学者約50人が日本を代表するIT企業の社員と交流し、インターネットの可能性や最新技術に目を輝かせた。

参加者は社内を見学し、最新の音声認識システムや、壁一面をホワイトボードにした執務エリアに興味津々。質問コーナーでは「いろんなコンセプトの会議室や部屋があったが、意図は「LINEヤフーで活躍するためにどんな資格を取得した方がいいか」と積極的に関わった。



最新の音声認識システムを体験する小学生



クマとの共存の願いを堂々と発表する田村珠乃さん

カメラ感知↓住民にメール クマと共存へアイデア

本県代表の田村珠乃さんの作品は「熊には困った熊WATCH」。

本県代表

田村珠乃さん

(盛岡・緑が丘4年)

「クマと人間の共存」がテーマ。通学する緑が丘小の近くにクマが出没し、友だちが怖がっていたことが制作のヒントとなった。

上の不具合や誤りを修正し臨んだ。当日は制作のきつかけや工夫した点などについてプレゼンテーション。3分間という時間内に収められるよう心がけながら、落ち着いた様子で発表した。



田村珠乃さんが制作した「熊WATCH」には困った熊WATCHには困った熊WATCH

身近なテーマ 高い技術 審査員長 岩手大会 岩手日報社 岩手日報社

田村珠乃さんの全国大会への出場ならびに「みんなの未来」受賞に敬意を表します。

田村さんの作品は、身近な問題である「一里に現れる熊と人間の共存」をテーマにしたリアルタイムが実現していた。

- 受賞者は次の通り。(敬称略)
【グランプリ】上田君(宮崎)
【準グランプリ】大塚陽葵(栃木)
【あおいニッセイ同和損保賞】長谷川衣梨(秋田)
【アイティフォー賞】三沢康太郎(神奈川)
【LINEヤフー賞】立塚悠馬(富山)
【全国新聞事業協議会賞】常見胡桃(宮城)
【審査員特別賞】鎌田千記理(香川)
【優秀賞】三浦彩乃(北海道)
【審査員特別賞】鎌田千記理(香川)
【優秀賞】三浦彩乃(北海道)

- 【みんなの未来賞】水川稜己(岡山)
大谷翔翔、千原快晴、加藤未柊(新潟)
松浦大翔(大阪)
【式部賞】中島莉衣奈、中島駿(大分)
【岡佑(山形)賞】岩間隆、鶴田侑己、酒井海(山梨)
【馬咲希(東京)賞】福田蒼志(熊本)
【中村航(山口)賞】梶田伊吹、村田陽生(兵庫)
【濱崎由來(滋賀)賞】中川健(鹿児島)
【川口結生(長崎)賞】田村珠乃(岩手)
【井手颯太(佐賀)賞】樋口陽大(長野)
【小保田佳歩(奈良)賞】福田純平(愛媛)
【大城悠生(沖縄)賞】若林玲子(福島)
【岡田龍空(京都)賞】高橋一喜(青森)
【酒井陽向、志宇知恵麻、荻野翔伍、小林秀一朗(徳島)賞】松永健伸(三重)
【島田実和(群馬)賞】

企画制作：岩手日報社広告事業局



KIOXIA
想像以上の未来をつくらう。
いわてのキオクを私たちとつなごう。
まだ見ぬ世界へ、さあ、いっしょに。
アーティスト小林覚さんとコラボレーションしました。制作紹介はこちらから。
キオクシア 岩手株式会社